

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月23日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL http://www.axell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 千代 進弘 TEL 03-5298-1670
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年11月19日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,175	—	771	—	750	—	519	—
27年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	43.56	—
27年3月期第2四半期	—	—

（注）平成27年3月期第2四半期は四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	12,538	11,714	93.4	1,047.09
27年3月期	14,562	13,556	93.1	1,093.10

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 11,714百万円 27年3月期 13,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△0.7	240	△85.4	240	△85.5	165	△85.2	13.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	12,402,252株	27年3月期	12,402,252株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,214,503株	27年3月期	54株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	11,924,518株	27年3月期2Q	12,402,198株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、平成27年10月26日（月）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、平成27年3月期通期決算より非連結決算に移行しております。そのため、前第2四半期累計期間は四半期財務諸表を作成しておりませんので、経営成績に関する説明について前年同四半期との比較は行っておりません。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策効果により企業収益や雇用情勢に改善傾向がみられるとともに、個人消費も底堅い動きを示すなど、緩やかな景気回復基調が持続しました。しかしながら、円安に伴う輸入物価の上昇や消費税率引き上げによる影響など、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社の中心的市場であるパチンコ・パチスロ機市場におきましては、安定稼働が見込める一部の有力機種種の販売は堅調に推移しているものの、遊技ホールの厳しい収益環境を背景に全体としては低調に推移しております。さらに平成26年9月に一般財団法人保安通信協会におけるパチスロ機型式試験の運用が変更されたことに伴い、パチスロ機の販売は低迷が懸念される状況が続いております。

かかる環境の中で当社は、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSI（注1）（サウンド、LED（注2）制御等の機能を統合した製品を含む）を中心に各種製品の販売に注力し、パチンコ・パチスロ機市場における事業規模の拡大に注力いたしました。さらには、組み込み機器市場（注3）に向けたグラフィックスLSIの採用拡大を図るとともに、デジタル簡易無線市場に向けた各種製品の営業活動にも注力いたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、業界団体による「のめり込み防止」に向けた自主規制（平成27年11月より実施）前の駆け込み需要の影響等により、前年同四半期比約14万個増の約76万個の販売となりました。また、同市場に向けたその他製品は、LEDドライバLSI（注4）は前年同四半期を上回る販売となりましたが、メモリモジュール製品は特定顧客の需要動向により前年同四半期を下回る販売となりました。以上によりパチンコ・パチスロ機向け各種LSI製品の売上高は6,059百万円となりました。その他組み込み機器向けグラフィックスLSIは87百万円、顧客の開発支援用ソフトウェアや評価基板、デジタル簡易無線向け製品等のその他製品は28百万円の売上高となりました。以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,175百万円となりました。

売上総利益は2,875百万円、売上総利益率は46.6%となりました。販売費及び一般管理費は、パチンコ・パチスロ機向けの次世代グラフィックスLSIや演出周辺LSI、組み込み機器向けグラフィックスLSIの試作開発費等を計上したことなどから研究開発費で1,581百万円、販売費及び一般管理費全体で2,103百万円を計上いたしました。

以上により、営業利益は771百万円、経常利益は750百万円、四半期純利益は519百万円となりました。

（注1）「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しております。

（注2）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われております。

（注3）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当します。

（注4）「LEDドライバLSI」とは、パチンコ・パチスロ機に搭載されるLEDを効率的に制御するためのLSIを意味しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で2,023百万円減少となる12,538百万円（前事業年度末比13.9%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（156百万円）、商品及び製品の増加（696百万円）に対し、有価証券の減少（2,999百万円）等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で181百万円減少となる824百万円（前事業年度末比18.0%減）となりました。主な要因は、買掛金の増加（91百万円）、未払法人税等の増加（103百万円）に対し、その他の流動負債の減少（399百万円）等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で1,842百万円減少となる11,714百万円（前事業年度末比13.6%減）となりました。主な要因は、自己株式の増加（2,000百万円）等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,657百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動により支出した資金は338百万円となりました。これは主に当第2四半期累計期間における税引前四半期純利益（750百万円）に対し、たな卸資産の増加（696百万円）、その他の流動負債の減少（240百万円）、法人税等の支払額（129百万円）等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動により支出した資金は131百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出（74百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動により支出した資金は2,372百万円となりました。これは主に自己株式の取得による支出額（2,000百万円）、配当金の支払額（371百万円）等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年4月24日に開示しました「平成27年3月期 決算短信」に記載のとおりです。

当第2四半期累計期間の業績は、通期業績予想値に対して売上高で56.1%、営業利益で321.6%、経常利益で312.6%、純利益で314.9%の進捗となっており、営業利益以下の各利益では、通期業績予想値を超える進捗となっております。しかしながら、下期以降の市場動向に不透明感が残ること、下期以降も積極的な研究開発投資を見込んでいること等を鑑み、現時点におきましては見直しを実施いたしません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,500	8,657
売掛金	550	521
有価証券	2,999	—
商品及び製品	1,483	2,179
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	153	260
流動資産合計	13,689	11,620
固定資産		
有形固定資産	297	302
無形固定資産	38	35
投資その他の資産	536	581
固定資産合計	872	918
資産合計	14,562	12,538
負債の部		
流動負債		
買掛金	170	262
未払法人税等	137	240
その他	662	262
流動負債合計	969	765
固定負債		
資産除去債務	33	33
その他	1	25
固定負債合計	35	58
負債合計	1,005	824
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	11,650	11,798
自己株式	△0	△2,000
株主資本合計	13,531	11,678
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25	35
評価・換算差額等合計	25	35
純資産合計	13,556	11,714
負債純資産合計	14,562	12,538

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	6,175
売上原価	3,300
売上総利益	2,875
販売費及び一般管理費	2,103
営業利益	771
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
その他	0
営業外収益合計	2
営業外費用	
自己株式取得費用	10
投資事業組合運用損	7
その他	5
営業外費用合計	23
経常利益	750
税引前四半期純利益	750
法人税等	230
四半期純利益	519

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	750
減価償却費	68
受取利息及び受取配当金	△1
投資事業組合運用損益 (△は益)	7
売上債権の増減額 (△は増加)	29
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△696
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△107
仕入債務の増減額 (△は減少)	91
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△240
その他	△113
小計	△210
利息及び配当金の受取額	1
法人税等の支払額	△129
営業活動によるキャッシュ・フロー	△338
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△74
無形固定資産の取得による支出	△8
その他	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△2,000
リース債務の返済による支出	△0
配当金の支払額	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,371
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,843
現金及び現金同等物の期首残高	11,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,657

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、平成27年10月15日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

- (1) 消却する株式の種類： 当社普通株式
- (2) 消却する株式の数： 1,214,503株（消却前の発行済株式総数に対する割合9.79%）
- (3) 消却予定日： 平成27年11月2日
- (4) 消却後の発行済株式総数： 11,187,749株

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

前第2四半期累計期間は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	7,193	—
組み込み機器向けLSI製品	55	—
その他	22	—
合計	7,272	—

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)			
	受注高 百万円	前年同四半期比 %	受注残高 百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	4,332	—	2,502	—
組み込み機器向けLSI製品	107	—	55	—
その他	38	—	11	—
合計	4,478	—	2,569	—

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	百万円	前年同四半期比 %
パチンコ・パチスロ機向けLSI製品	6,059	—
組み込み機器向けLSI製品	87	—
その他	28	—
合計	6,175	—

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当第2四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	
	百万円	%
緑屋電気株式会社	4,454	72.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成28年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 27年4月～27年6月	第2四半期 27年7月～27年9月	第3四半期 27年10月～27年12月	第4四半期 28年1月～28年3月
売上高	2,831	3,343	—	—
売上総利益	1,371	1,504	—	—
営業利益	589	182	—	—
経常利益	581	169	—	—
税引前四半期純利益	581	169	—	—
四半期純利益	402	116	—	—
1株当たり四半期純利益	32.84円	10.08円	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	14,829	12,538	—	—
純資産	12,859	11,714	—	—
1株当たり純資産	1,076.49円	1,047.09円	—	—

<参考情報>

平成27年3月期第1四半期から第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、四半期毎の業績の推移は四半期連結会計期間の情報を記載しております。

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 26年4月～26年6月	第2四半期 26年7月～26年9月	第3四半期 26年10月～26年12月
売上高	3,326	2,610	3,380
売上総利益	1,569	894	1,491
営業利益	888	208	770
経常利益	890	212	773
税金等調整前四半期純利益	890	212	771
四半期純利益	634	147	552
四半期包括利益	637	132	549
1株当たり四半期純利益	51.13円	11.86円	44.54円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末
総資産	14,013	14,470	14,875
純資産	13,242	13,374	13,614
1株当たり純資産	1,067.72円	1,078.43円	1,097.72円